施設ソーシャルワーク9機能モデルを活用した 相談援助実習の展開

~実習プログラムに焦点をあてて~

1 開催の趣旨

社会福祉士養成においては、より高い実践力養成が志向され、相談援助実習は目標志向型・ 臨床参加型実習となってきている。こうした目標志向型の実習においては、体系的な実習プログラ ムが重要となる。現在、最も多くの学生が実習する場である入所・通所施設での実習においては、 利用者のニーズを捉えた個別支援と環境調整、サービスの質の向上、リスク管理、地域資源の活 用など幅広い施設ソーシャルワークを理解することが求められる。さらに、実習生自らが「~でき る」力を獲得していく為にも、施設・機関における体系的な実習ブログラムは実習を効果的に進め るにあたっての重要な要素のひとつである。

北海道ブロックでは、2012年度より施設ソーシャルワーク9機能モデル(以下、RSW9機能モデ ル)を提示し、実践例の紹介や実習教育への導入を行っており、このモデルを活用した実習プログ ラムによる実習展開が試行されてきている。しかしながら、実習プログラムをどのように作成してい くと良いのかといった戸惑いや、実習プログラム作成に苦慮する声も少なくない。

加えて、養成校や学生からも、RSW9機能モデルについてどのような知識を持って実習にのぞ むと良いのかといった点についてのとまどいの声もある。

そこで、本年度の研修では、RSW9機能モデルを活用した実習展開の中でも、特に実習プログ ラミングに焦点をあて、講演及び実習指導者・実習体験学生の体験例報告を踏まえ、模擬的実習 プログラミング体験を行い、効果的な実習展開について検討する。

2 開催日時・会場

(1)開催日時 : 2015 年 7 月 11 日(土) 13:00~18:00(受付 12:30~)

(2)会 場 : 北翔大学 6号棟(649教室)

北海道江別市文京台 23 番地(JR大麻駅徒歩 15 分)

(3)対 象: ① 社会福祉士養成校教員

② 社会福祉士養成に関心のある社会福祉士および実習指導者等

③ 社会福祉士養成課程で学ぶ学生

(4)参加費: 現場・養成校 1,000円(資料代)

学 生 無料

(5)定 員 : 40名

3 プログラム

13:00 開催の挨拶 (一社)日本社会福祉士養成校協会北海道ブロック運営委員長池 田雅子(北星学園大学)

13:05 講 演 施設ソーシャルワーク(RSW)9機能モデルを活用した実習展開(仮) ~実習プログラミングに焦点をあてて~

越 石 全(札幌医学技術福祉歯科専門学校)

14:00 休 憩

14:10 報 告 施設ソーシャルワーク(RSW)9機能モデルを活用した実習展開例

相談援助実習において、RSW9機能モデルを活用した実習プログラムを作成し、実習指導を展開している現場の実習指導者から、特にソーシャルワーク理解を中心とした実習プログラム作成過程や相談援助実習指導例の紹介をいただき、実習プログラム作成の留意点、事前教育およびソーシャルワーク理解に向けた効果的な相談援助実習の展開に向けた提言をいただく。

<現場報告> 各30分

① 障がい福祉サービス事業所における実習プログラミングと実習展開(仮)

梶 川 幸 雄 (障がい福祉サービス事業所北愛館)

② 介護老人保健施設における実習プログラミングと実習展開(仮)

久 慈 隆 之 (介護老人保健施設老健あつべつ)

<学生報告> 各15分

- ① 障がい福祉分野での相談援助実習体験報告 ~ R S W 9 機能モデルを用いたタイムスタディ分析体験とS W理解体験を中心に~ 野 尻 春 奈 (北海道医療大学/札幌医学技術福祉歯科専門学校卒)
- ② 児童福祉分野での相談援助実習計画書作成体験報告

一村 美里(北海道医療大学)

③ 児童福祉分野での相談援助実習計画書作成体験報告

富山 怜菜(北海道医療大学)

16:00 演習:実習プログラミング体験

コーディネーター 越石 全

自らの日々のソーシャルワーク実践を、より効果的に学生が理解することができるよう 実習を展開していく為に、RSW9機能モデルを用いた模擬的実習プログラミング体験を、 教員・現場の社会福祉士(実習指導者)等・学生の三者で行う。

18:00 終了 懇親会 18:30 頃より懇親会を予定しています (会費 3500 円程度)。

参加申込 が切 7月 3日(金)*「参加連絡票」にて所属機関毎にお申込みください。

<北翔大学までのアクセス>



- ※詳細は北翔大ホームページをご覧下さい
- ※駐車場の収容台数に限りがありますので、出来るだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。 (お車でお越しの方は、正門からお入りください)

